

～保育士が働きやすい職場づくりに向けた取り組み 好実践事例～

★CASE 17★

島根県社会福祉協議会 島根県福祉人材センター

江津市立渡津保育所（江津市）

【保育園DATA】

- 所在地：江津市渡津町508-1
- 法人名：江津市
- 定員：80名
※令和2年1月21日時点で
在籍数64名

○職員構成（保育士）

- ・主任保育士 1名
- ・正規職員 7名
- ・嘱託職員 8名
- ・保育補助 1名
- ・その他職員 3名（調理員）



○ 佐々木文子 所長が大切にしていること

～ みんなの笑顔大切に ～
子どもや子どもを取り巻くすべての人が
笑顔で愛情を育めるように

☆ 佐々木 文子 所長略歴 ☆

- ・学卒後江津市に採用となり、江津市内公立保育所にて保育士として保育に携わる。
- ・渡津保育所には今回が4回目の赴任。平成29年より所長に就任し現在に至る。

保育士がいまいきと働ける環境を整備するために

○みんなの笑顔大切に

子どもの笑顔は大きな喜びであり大切なものです。子どもを取り巻く家族の方々や保育士みんなが笑顔でその愛情を子ども達に注いで、子ども達が笑顔でいられるようにとの思いを大切に、職員は子ども達を笑顔で迎えて、笑顔で送り出すことを心掛けて保育に取り組んでいます。

○気軽な声掛けからコミュニケーションを深めよう

所長としてクラス担任や職員配置を考える上では、保育現場に入り、共に過ごすなかで見える子ども達や保育士の様子を把握することを大切にしています。

そのため、普段から給食の時間にはなるべく保育室に入り、子ども達や保育士と一緒に給食を食べたり、休みの保育士のフォローで保育現場に入った際にも、子ども達はもちろんのこと職員にも声を掛け、双方向でのコミュニケーションが深まるように努めています。

また、職員の休憩は、子ども達の午睡時間に合わせて交替で取得しますが、空き教室を休憩室として活用し、現場からいったん離れてリフレッシュします。休憩時の歓談では、趣味や美味しいお店の情報、健康についてなど、保育以外の話題も多く取り入れることで、クラスや保育経験に関わりなく会話が弾み、職員同士のコミュニケーションもより深まっています。

この日常的なやりとりが、風通しの良い職場づくりにつながり、自然と長く勤めることができ、経験豊かな職員の育成につながっています。

取り組み紹介① 「 ICT化の導入で業務の効率化や負担軽減を目指す 」

平成30年4月からICT化に取り組んでいます。導入にあたっては不安を感じる職員の声もありましたが、ICT担当の主任保育士を中心に、職員向けの事前説明会やシステムの勉強会を行い準備を進めました。

ハード面ではパソコンの増設や全クラスにタブレットを導入しました。タブレットでは、出席簿や健康チェック、成長の記録を管理しています。これまでは手書きで記入し集計やまとめを行っていた業務が、システムで一括管理することで速やかにデータ化することが可能となり助かっています。

また、年長児の就学にあたり小学校へと引き継いでいく「保育所児童保育要録」の作成についても、ICTシステムを活用する事で担任保育士の業務負担の軽減が期待できます。

本格的なICT化といえるまでには、データの蓄積やシステムへの慣れなどに数年は要すると聞いていますが、より一層の業務の効率化を推進するためお互いに情報交換しながら職場全体で取り組みを進めています。

取り組み紹介② 「 安定した休日の確保でワークライフバランスを整える 」

保育士を3チームに分けて土曜日勤務のシフトを組んでおり、土曜日に勤務した場合は、原則として平日に休日を振り替えて週休2日を確保しています。

日頃、家庭と両立しながら早番や遅番などの交替勤務を勤める職員が、できるだけ希望に応じた休日を確保できるよう、非常勤スタッフの調整や園長・主任がフォローに入るなど、その体制づくりに取り組んでいます。

取り組み紹介③ 「 地域との連携や環境を活かした保育の実践 」

年間を通じて様々な行事を行っていますが、特に地域とのつながりや自然環境を活かした保育に力を入れています。同じ町内にある「西部島根医療福祉センター」で催されるお祭りに参加をして障がいのある方との交流を深めたり、近隣の「島根少年自然の家」や江の川河川敷など、豊かな自然環境のもと、ネイチャーゲームを楽しんだり自然と触れ合い季節を感じる活動を積極的に取り入れています。

☆職員の声☆



俵 利加 先生

- ・保育士歴：2年
- ・2歳児を担当

幼い頃お世話になった先生のように、子どもの良いところを伸ばしてあげられる先生になりたいとの思いから、子どもに関わる仕事を選びました。

約20年間の幼稚園勤務を経て、保育所に異動になり2年目です。幼稚園に比べると、子どもが保育所で生活する時間は長く、子ども達の24時間の生活リズムを考えながら保育を行っています。子どもたちの意欲や学びには驚かされることもたくさんあり、日々の成長を傍で見ることができる事が何より嬉しいです。



橘 愛夏 先生

- ・保育士歴：6年
- ・3歳児を担当

子どもと関わることや小さな子どものお世話が好きなことから保育士を目指し、就職については、生まれ育った地元で保育士になりたいと思っていました。

保育士として働く日々の中には、大変なこともあります。担任として1年を終えた際に、保護者の方から温かい労いの言葉をいただいたり、子ども達の成長していく姿や素直な笑顔を見ることができる保育士の仕事は、やりがいのある仕事だと感じています。

♪ 保育っていいな ♪ ～日々の1コマより～

